

株式会社ワールド 国内小売事業 月次売上概況

会社名  
代表者名  
問合せ先

株式会社ワールド  
代表取締役 社長執行役員 鈴木 信輝  
(コード番号:3612 東証プライム市場)  
取締役 副社長執行役員 中林 恵一  
(電話番号:IR・グループコミュニケーション室 03-6887-1300)

2026年2月期 (2025/3/1～2026/2/28)		上期							下期						通期	
		3月 Mar.	4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	1H	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上 ※1		98.7	95.0	100.0	97.8	101.2	102.0	99.0	92.8	102.2	102.2				99.7	99.2
店舗売上 ※2		98.8	95.3	100.9	97.5	101.3	101.8	99.1	93.0	103.2	104.5				100.9	99.7
既存店売上 ※3		98.1	94.0	100.1	96.5	100.5	100.2	98.2	91.4 ※5	100.5	102.1				98.8	98.4
Eコマース売上 ※4		98.7	93.5	96.5	98.8	101.0	102.6	98.4	92.2	98.6	94.2				95.1	97.3
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数 ※2		2,270	2,298	2,299	2,301	2,298	2,284	—	2,295	2,319	2,314				—	—
出店		21	31	8	3	4	4	71	18	32	5				55	126
退店		13	3	7	1	7	18	49	7	8	10				25	74
M&A		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
既存店対象店舗数 ※3		1,999	2,024	2,025	2,023	2,015	1,992	—	2,005 ※5	2,037	2,052				—	—

注) 当資料は、原則として、翌月の第3営業日を目処に開示しており、速報値を含んでおります。このため、確定値が速報値と異なる場合、翌月の速報発表時に修正してお知らせいたします。また、通期の列においては、当月初から当月までの累計値を記載しております。

※1 売上数値は国内小売売上のみに限定されており、国内の卸売上や催事売上、海外売上などを含んでおりません。

※2 店舗売上及び店舗数には、直営店とVSPA(バーチャルSPA)を含んでおり、FC(フランチャイズ)や海外店を含んでおりません。

※3 既存店の定義は新規出店もしくは新規連結(グループ加入)から丸12ヶ月以上経過した店舗であり、前年同月と売場が同区画(同面積)で変動がないものとしており、対象店舗数も毎月変動いたします。

このため、改装等に伴って移設される場合や1日以上休業する場合、既存店から除外しております。なお、既存店にはEコマースの売上を含んでおりません。

※4 Eコマースの売上には、自社サイト及び他社サイトで計上した売上を集計しております。なお、ラクサス・テクノロジーズ㈱の売上は2024年12月13日のIPOに伴って2025年1月度より除外となり、EC売上において年間通じて平均7.0%程度のマイナス影響と試算しております。

※5 2025年10月の既存店売上前年比が100.6から100.5へ、既存店対象店舗数が2,038から2,037へ修正されました。下線部をご確認ください。

(当月の概況)

休日数(前年差)

当月

+2

前年同月

±0

・当月は、国内小売売上が前年同月比102.2%となり、内訳は店舗売上が同104.5%、Eコマース売上が同94.2%となりました。既存店売上は前年同月比102.1%でした。休日数が前年同月より2日多く、その影響は約4.5%のプラスと推計しております。

・店舗販路は、百貨店チャネルが顧客向けイベント施策も支えにプロパー販売を大きく伸ばしました。店頭フェースが冬物に切り替わるタイミングでカーディガンやコートの売上が昨対2桁増を記録するなど、冬物商材が気温低下も追い風に活発でした。

・EC販路は、自社EC「WOS」にてプロパー販売を軸とした冬物商戦を進め、ラクサス連結除外影響の補正後で前年並みでした。特に、10月の好調を引き継いだ上旬において、アイテム特化のポイントアップ施策などが冬物動向を強く刺激しました。

・アイテム別では、中旬の冷え込みでコートの売れ筋がウールからダウンへ移行したほか、継続して好調なカーディガンとパンツでも冬素材アイテムが本格稼働しました。雑貨ではクリスマス商品が急浮上したほか、引き続き調理器具も好評でした。

・ブランド別では、アパレルは「インディヴィ」「タケオキクチ」などの百貨店や「ドレステリア」「ストラスブルゴ」等のセレクト、ナルミヤのキッズ・ティーンズに至る広範囲で売上が大幅伸張し、ライフスタイルも「212キッチン」を筆頭に総じて好調でした。

お知らせ：2026年2月期第3四半期決算発表(Tdnet及びホームページでの開示)は、1月7日(水)の予定です。

(参考:前期実績)

2025年2月期 (2024/3/1～2025/2/28)		上期						下期						通期		
		3月 Mar.	4月 Apr.	5月 May.	6月 Jun.	7月 Jul.	8月 Aug.	1H	9月 Sep.	10月 Oct.	11月 Nov.	12月 Dec.	1月 Jan.	2月 Feb.	2H	Full Term
売上前年比		伸び率(%)														
国内小売売上		98.0	104.8	101.1	109.0	99.2	101.6	102.1	102.9	94.2	105.2	102.7	98.8	92.1	99.6	100.8
店舗売上		97.5	102.4	98.3	109.0	95.6	101.6	100.5	102.1	92.2	104.4	100.4	98.9	93.5	98.8	99.6
既存店売上		97.9	103.5	99.4	111.0	96.5	102.3	101.4	103.2	92.7	104.7	100.2	98.8	91.7	98.6	99.9
Eコマース売上		100.1	115.1	112.6	109.0	114.3	101.4	108.8	105.9	102.3	108.0	111.7	98.6	87.9	102.4	105.3
店舗数		店														
月末(期末)小売店舗数		2,207	2,221	2,217	2,218	2,198	2,181	—	2,200	2,220	2,228	2,279	2,255	2,262	—	—
出店		30	16	1	1	7	5	60	25	20	9	3	1	18	76	136
退店		15	2	5	0	27	22	71	6	0	1	0	25	11	43	114
M&A		8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	48	0	0	48	56
既存店対象店舗数		2,007	2,033	2,040	2,039	2,018	1,990	—	1,993	2,001	2,007	2,011	1,989	1,986	—	—